

マクドナルドと社会

マクドナルドは、企業の社会的責任(Corporate Social Responsibility)として、

「コーポレートガバナンス」を基盤とし、

「カスタマー(顧客)」

「パートナー」

「コミュニティ(社会貢献)」

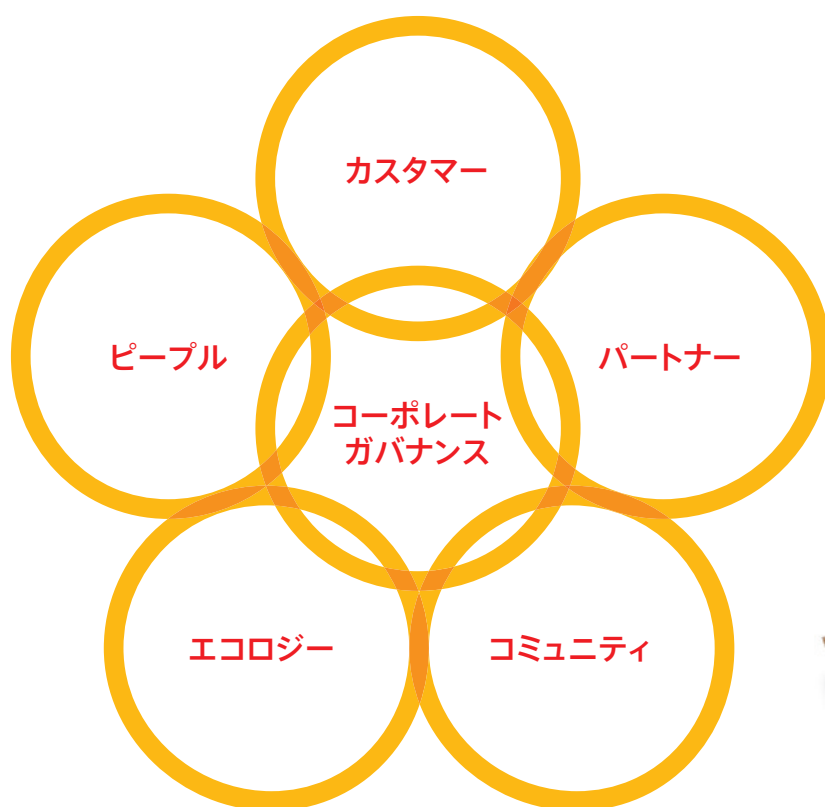
「エコロジー(環境)」

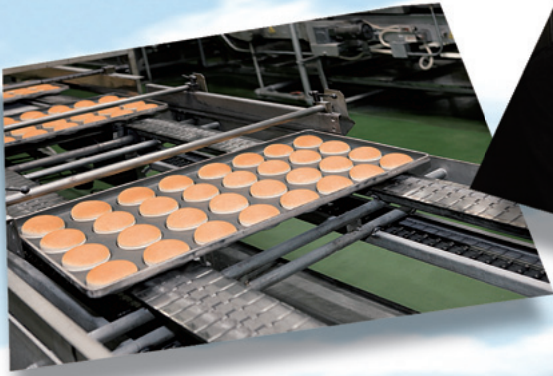
「ピープル(従業員)」

の6つの領域に重点を置いたCSR活動を行っています。

これら6つの領域のCSR活動を軸に、お客様やサプライヤー・フランチャイジーなどのパートナー、株主・投資家、従業員、地域社会や環境など、マクドナルドを取り巻くステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを図りながら、社会の期待に応えていきたいと思えます。

今後も、「食のリーディングカンパニー」として、持続可能な社会の構築に向けて、ステークホルダーの皆様とともに成長していく企業を目指します。





マクドナルドを取り巻くステークホルダー

マクドナルドは、全国で約3,300店舗を展開し、16万人もの雇用を生み出し、年間延べ15億人のお客様に食を提供しています。私たちは社会に与える影響を認識し、ステークホルダーとの対話を通じてその責任を果たしていきます。

